２０１８年（平成３０年）１０月５日　金曜日

デーリー東北　１２面　掲載

2018 福井しあわせ元気国体　第6日

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」第６日は４日、福井県内の各地で熱戦を繰り広げた。

青森県勢は、サッカー少年男子が３位決定戦に臨んだが、千葉に敗れて４位。国体初出場となった女子ラグビー（７人制）は、７位入賞を果たした。ボウリングは少年男子団体が予選を３位で突破し、５日の決勝へ進出。同少年女子団体、同成年男子団体（２人チーム）は予選敗退となった。

岩手県北地方関係では、重量挙げ成年男子69キロ級の内村湧嬉（久慈工高教）がスナッチ７位、クリーン＆ジャーク４位、合計で５位に入った。

（金濱千優希、五十嵐美咲）

# 女子 初出場7位

ラグビー

（小浜市総合運動場陸上競技場ほか）

▽女子（7人制）準々決勝＝青森県関係分

福岡 31―7 青森（選抜）

7―7 青森（選抜） 24―0

▽同5～7位決定予備戦（勝者は5、6位決定戦へ、敗者は7位確定）

福井 25―0 青森（選抜）

10―0 青森（選抜）

【ラグビー女子決勝トーナメント敗者戦・青森―福井】後半、トライを狙って懸命に走る青森の幅野陽香（左）＝小浜市総合運動場陸上競技場

賞状を手に笑顔を見せるラグビー女子の青森県代表選手ら

## 〝再トライ〟誓う

○…ラグビー女子の青森は、国体初出場で7位入賞。決勝トーナメントでは1勝が遠かったが、鈴木佳寿音主将（八戸学院大）は「全国はレベルが高かった。いい経験になった」と前を向いた。

決勝トーナメント1回戦敗退チーム同士がぶつかる敗者戦では、地元・福井と対戦。後半には、途中出場の幅野陽香（三農高）が抜け出してトライを狙ったが、相手に捕まってしまい、「走るコースを切り替えられれば良かった」とわずかな判断ミスを悔しがった。

大会を通じ、「組織力や競技への理解がまだまだ」と課題を挙げた鈴木主将。「もっと強くなり、来年また戻ってきたい」と国体への〝再トライ〟を誓った。

デーリー東北新聞社提供